

監査委員の決算審査意見

**厳しい財政状況が続くと想定
自主財源の確保を**

監査委員 荒木昭雄
監査委員 石川 修

平成 26 年 7 月 28 日、29 日、31 日の 3 日間審査を行いました。

《審査の結果と意見》

各会計の決算は適法、正確に処理されており、計数的にも正確で、内容も適正なものとして認めました。

①雇用創出や財源確保の観点からも企業誘致や定住化促進、ふるさと応援寄付金（ふるさと納税）など、これまで以上の取り組みをお願いしたい。

②滞納・不納欠損になる前に、滞納者の実態把握に努め、早め早めの適正な対応また、必要に応じ収納職員を増強する等納税対策の更なる強化を図っていただきたい。

③国民健康保険財政の健全

化と保険料負担の公平適正化を図るため、今後なお一層、収入率向上に向けた努力を望む。

④農業集落排水事業特別会計、公共下水道事業特別会計とも起債残高が多く、一般会計からの繰入金で賄っている。分担金や使用料に滞納や不納欠損が発生しないように努め、更なる運営改善を図っていただきたい。

⑤介護保険認定者、受給者とも増加傾向が続ぎ、給付費も年々増加している。健康意識の向上を図るとともに、要介護・要支援状態になる前に状況に応じた予防事業を積極的に実施していただきたい。

⑥後期高齢者医療保険料滞納者に対しては、きめ細かい納付指導を行うなど、収入未済額の縮減に努められたい。

⑦今後とも水道への加入促進を図るとともに、増加しつつある滞納金の徴収と併せて一層の経費削減に努め

ていただきたい。

⑧電気事業については、出来るだけ早い時期に施設を整備し、再生可能エネルギーの普及に貢献するとともに、住民の安全で暮らしやすいまちづくりに努めていただきたい。

決算審査特別委員会質疑

9 月 17 日、18 日の 2 日間開催した決算審査特別委員会の質疑を一部紹介します。

街の保健室事業とは

山本議員 どういう経緯で行ったか。

健康増進課長 稲敷地域医療連絡協議会（稲敷市・阿見町・美浦村）の事業で、東京医科大学茨城医療センター看護師により、ヨークベニマルで住民の健康を診てもらった。

山本議員 継続してやって

いくのか。

健康増進課長 今年度事業に盛り込んである。

放課後子ども教室とは

山崎議員 事業協力者とはどのような人か。

生涯学習課長 事業協力者は、コーディネーター、安全委員、学習アドバイザー。

山崎議員 コーディネーター、安全委員、学習アドバイザーは、きちっとした資格がある人か。

生涯学習課長 資格ではなく、村と一緒に協力してやっていきたいという方。

山崎議員 どういうところで、募集をかけているのか。

生涯学習課長 募集ではなく、広報等で周知している。